

平成 20 年 5 月 20 日

各 位

豊川信用金庫

「平成 19 年～20 年度地域密着型金融推進計画」の進捗状況のお知らせ

豊川信用金庫は、「地域密着型金融」こそが、地域金融機関である信用金庫の存在意義そのものであると認識しており、「地域密着型金融」を経営戦略上の最優先課題と位置付け、平成 19 年 10 月に「平成 19 年～20 年度地域密着型金融推進計画」を策定・公表し「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」「事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」「地域の情報集積を利用した持続可能な地域経済への貢献」を 3 大項目として積極的に取り組んでまいりました。

取組開始後 1 年（平成 19 年 4 月～20 年 3 月）が経過し、この計画に沿った進捗状況の要約につきまして、別添の通りお知らせ致します。

記

1. 平成 19 年～20 年度地域密着型金融推進計画の進捗状況（平成 19 年 4 月～20 年 3 月）

- (1) 大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
- (2) 地域密着型金融の取組みにかかる主要開示計数（平成 19 年 4 月～20 年 3 月）
- (3) 個別の具体的取組策及び目標の進捗状況（平成 19 年 4 月～20 年 3 月）

以 上

問合せ先 経営企画部
(0533-89-2322)

平成 19 年～20 年度地域密着型金融推進計画の進捗状況（平成 19 年 4 月～20 年 3 月）

(1)大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題

大項目	19 年 4 月～20 年 3 月の進捗状況	20 年 3 月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題
<p>①ライフサイクルに 応じた取引先企業 の支援強化</p>	<p>・創業、経営革新支援においては、クリニックや飲食店等のサービス業に対して、事業計画策定支援や立地診断、販売促進についてのアドバイス等を実施し、小売業や製造業、サービス業に対して、新製品開発や販路拡大等の支援を行い、経営革新計画の認定取得に至りました。特に、地域資源である「三河木綿」を活用した新製品の企画・開発や、販路開拓、経営計画策定支援を実施し、中部経済産業局長「地域資源活用プログラム事業」認定の取得を支援いたしました。また、産学連携を活用した技術相談を実施し、共同研究に至りました。</p> <p>・経営改善支援においては、様々な経営課題を抱える取引先企業に対して「中小企業診断士」を派遣し、課題解決の方策を提案するため「企業診断サービス」を実施しました。また、営業店と本部が一体となった経営改善支援を実施した結果、58 先がランクアップいたしました。</p> <p>・事業承継支援においては、取引先企業が円滑かつ早期に事業承継に着手できるよう啓蒙活動や個別相談を通じて支援を行い、個別企業に対しても具体的な支援を実施しました。</p>	<p>・創業、経営革新支援では、当金庫と企業との関係が強化されたものと評価しています。経営者の経営革新に対する意識の向上や、その情報を素早くキャッチして支援に繋げる情報収集力の向上、また、新連携支援等の中小企業支援施策を経営者にPRし、経営革新を広く促すことが、今後の課題であると認識しています。</p> <p>・経営改善支援では、取引先企業が業績向上に向けて、経営改善を積極的に取り組む姿勢が見られるようになったと評価しています。1社でも多くの企業に企業診断サービスを受けていただき、より多くの取引先企業の経営改善意欲を向上させていくことが、今後の課題であると認識しています。</p> <p>・事業承継支援では、後継者には後継者としての自覚が備わり、顧問税理士と共に自社株対策を行うなど早目の準備に着手することができたと評価しています。企業の今後を担う後継者に対して、育成支援を行っていくことが、今後の課題であると認識しています。</p>

<p>②事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p>	<p>・職員の目利き力の向上のため、平成 19 年 12 月内部講師による庫内研修を実施し、外部研修へも職員を積極的に派遣しました。</p> <p>・担保、保証に過度に依存しない融資の推進においては、当金庫 70 周年記念、期間限定の「地域サポート 70」の取扱を行い、実績は取扱件数 108 件取扱金額 2,210 百万円となりました。原則無担保「ご近所ローン」の継続的な取扱を行い、実績は取扱件数 33 件 75 百万円となりました。</p> <p>・事業再生に向けた積極的取組においては、平成 19 年 9 月に外部講師を招き研修会「しんきん中金実務口座」を開催しました。</p>	<p>・研修等は予定通りに開催し、目利き力向上に繋がったものと評価しています。今後の課題としては、定期的に研修等を行い、更に職員のスキルアップを図らなければならないと認識しています。</p> <p>・「ご近所ローン」におきましては、平成 17 年 4 月 1 日に発売以来累計で、平成 20 年 3 月までに取扱件数 1,192 件取扱金額 2,192 百万円のご利用をいただきました。「地域サポート 70」においては、期間限定でありましたが、まずまずの成果を挙げられたと評価しています。今後の課題としては、更にお客様の資金ニーズに適した、ご利用しやすい商品改良、商品開発を行わなければならないと認識しています。</p> <p>・平成 19 年度事業再生に向けた取組実績はなく、DDS(債権を資本的劣後ローンに転換する手法)・ファンド等のほかに、新しいスキームの利用の検討を行ってまいります。</p>
<p>③地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p>	<p>・「かわしんビジネス交流会」につきましては、地元中小企業の発展と地域経済活性化のため、地元中小企業の異業種との情報交換・交流を促進し、ビジネス・チャンスの創出を支援することを目的として、平成 17 年から開催しています。平成 19 年度においては、昨年 7 月当金庫創業 70 周年を記念し、2 日間豊川市総合体育館において開催し、東海地区しんきん経営者協議会及び創立 60 周年を迎えた豊川商工会議所の「とよかわ産業フェア 2007」と共催し、中部経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構中部支部、愛知県、豊川市、豊川商工会議所、東三河産業支援推進委員会、(社)発明協会愛知県支部、豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学、中部大学等の後援を頂き、さらにJAひまわり、豊橋信用金庫、西尾信用金庫、半田信用金庫、碧海信用金庫、豊田信用金庫、蒲郡信用金庫の協賛</p>	<p>・「第 3 回かわしんビジネス交流会」を開催し、年々盛況となっておりませんが、平成 19 年度は当金庫創業 70 周年、豊川商工会議所 60 周年を記念し、2 日間合同で開催し、出展数、イベント等大規模なものとなりました。平成 20 年度は、当金庫単独開催の予定のため、10 月に 1 日間で出展社数 120 社程度での開催を計画しています。今後とも、更に実施内容の充実を図りながら、継続的に開催してまいります。</p>

	<p>を得て、出展社は 161 先に及びました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お客様の声アンケート」につきましては、平成 19 年 11 月に実施し、アンケート用紙配布 1,050 名に対し、回答 1,031 名の方にご回答いただきました(98.2%)。アンケート結果に基づき検討し、今後の業務に活かしてまいります。 ・お取引先への情報提供機能の強化の一環として、イーグルクラブの例会・講演会を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「お客様の声アンケート」は、利用者の声を踏まえた経営改善のための重要な手法の一つと認識しており、過去「ATMセキュリティ向上」「店舗のバリアフリー化」等のご意見により経営改善に取り組んでまいりましたが、今後とも継続的に実行し、経営改善に取り組んでまいります。 ・今後とも、「豊川しんきんニュービジネスクラブ」「イーグルクラブ」の会員数の増加を図り、お客様への情報提供機能の強化に努めてまいります。
--	---	--

(2) 地域密着型金融の取組みにかかる主要開示計数

【 経営改善支援の取組み実績（19年4月～20年3月） 】

（単位：先数）

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み 先 α	αのうち期末に債務 者区分がランクアッ プした先数 β	αのうち期末に債務 者区分が変化しな かった先 γ	αのうち再生計画を 策定した先数 δ
正常先 ①		3,367	10		10	0
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	1,528	473	40	433	76
	うち要管理先 ③	43	11	3	7	2
破綻懸念先 ④		261	63	10	50	6
実質破綻先 ⑤		110	3	1	2	0
破綻先 ⑥		18	0	0	0	0
小計（②～⑥の計）		1,960	550	54	492	84
合 計		5,327	560	54	502	84

		経営改善支援取組み 率 = α / A	ランクアップ率 = β / α	再生計画策定率 = δ / α	創業支援・新事業 支援融資実績	個人保証・不動産担 保に過度に依存しな い融資の取組み実績
正常先 ①		0.3%		0.0%	9件	141件
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	31.0%	8.5%	16.1%	93百万円	2,285百万円
	うち要管理先 ③	25.6%	27.3%	18.2%		
破綻懸念先 ④		24.1%	15.9%	9.5%		
実質破綻先 ⑤		2.7%	33.3%	0.0%		
破綻先 ⑥		0.0%	—	—		
小計（②～⑥の計）		28.1%	9.8%	15.3%		
合 計		10.5%	9.6%	15.0%		

(3) 具体的取組策および目標の進捗状況(19年4月～20年3月)

項 目	具体的な取組策および目標	進捗状況
		19年4月～20年3月
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定支援のほか立地やプロモーション面のアドバイスを行うなど、スタートアップ支援を実施してまいります。 ・事業計画に重点を置いた資金支援を実施してまいります。 ・創業・経営革新支援 2先 ・中小企業基盤整備機構との連携による新連携支援や地域資源活用プログラムなど、中小企業支援施策を有効活用してまいります。 ・産学連携におけるコーディネーター機能を果たしてまいります。 ・技術相談等産学連携コーディネート 3先 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援 クリニックや飲食店等のサービス業に対して、事業計画策定支援や立地診断、販売促進についてのアドバイス等を実施しました。 ・経営革新支援 小売業や製造業、サービス業に対して、新製品開発や販路拡大等の支援を行い、経営革新計画認定取得に至りました。特に、地域資源である「三河木綿」を活用した新製品の企画・開発や、販路開拓、経営計画策定支援を実施し、中部経済産業局「地域資源活用プログラム事業」認定の取得を支援致しました。 ・産学連携による技術相談を実施し、共同研究に至りました。
(2) 経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> ・営業店と経営支援部による経営支援活動を展開してまいります。 ・外部機関との連携による経営改善活動を強化してまいります。 ・経営支援先として568先を選定します。 ・中小企業診断協会との連携による「企業診断サービス」を、希望する企業に対して実施してまいります。実施予定5先。 ・中京大学大学院ビジネス・イノベーション研究科との連携により「企業診断サービス」を希望する企業に対し実施してまいります。 ・当金庫内部での研修に加え、信金中金、中小企業金融公庫、中小企業基盤整備機構などから講師を招き、当金庫職員向け経営支援スキル向上のための研修を実施してまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営支援先として568先を選定し、経営改善に向けた活動を実施した結果58先(上期:28先、下期:30先)がランクアップしました。 ・中小企業診断協会との連携による「企業診断サービス」を10先に対して実施しました。 ・中京大学大学院ビジネス・イノベーション研究科との連携による「企業診断サービス」開始に向けた調整を図り、サービス業1先(20年4月開始予定)に対して実施する準備が整いました。 ・当金庫職員向けに経営支援活動事例研修会を4回実施し、延べ121先の事例について検討を加えました。 ・信金中金から講師を招き、業種別目利き研修会を実施しました。
(3) 事業再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会(予定されている同協議会全国組織)の活用してまいります。 ・中小企業再生支援協議会(全国組織)の活用検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会との情報交換を行い、企業の再生可能性を検討いたしました。 ・愛知中小企業再生ファンドや会計事務所等と連携しながら、経営支援およびモニタリングを実施いたしました。

項 目	具体的な取組策および目標	進捗状況
		19年4月～20年3月
(4)事業承継支援	<ul style="list-style-type: none"> ・税理士等の専門家と連携し、事業承継計画の策定等、個社別、事案ごとに円滑な事業承継に向けた支援を実施してまいります。 ・事業承継対策に関し、現経営者や後継者に問題提起、啓蒙活動を実施してまいります。 ・中小企業診断士や税理士と連携し、事業承継問題に関する情報交換を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の高齢化が進む取引先企業の事業承継問題の解決に向けて、顧問税理士や中小企業診断士など外部支援者との連携を図りながら、情報の収集、ノウハウの蓄積を行いました。 ・経営者に早めの事業承継対策を講じていただくために啓蒙活動を実施してまいりました。 ・このような啓蒙活動を実施した結果、取引先企業から事業承継対策に関する相談が増加し、経営者、顧問税理士、当金庫の3者で現状分析や自社株対策等について検討を行いました。
2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1)職員の目利き力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の目利き力の向上の為、内部講師による庫内研修を実施してまいります。 ・融資能力向上のため外部研修へ参加してまいります 	<p>職員の目利き力の向上のため、平成19年12月内部講師による庫内研修を実施し、外部研修へも職員を積極的に派遣しました。</p>
(2)担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「ご近所ローン」(原則無担保、第三者保証不要)、「地域サポート70」(期間限定商品・原則無担保)を引続き積極的に推進致します。 ・信用格付の精度の向上のため、当金庫信用格付と信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベースとの整合性の検証を行い格付精度を高めます。また、職員に対し信用格付についての勉強会を行ってまいります。 ・格付精度の向上と共に、クレジットスコアリングモデル(財務諸表を中心に、統計的に算出した倒産確率等によって融資審査を行う手法であり、短期間での融資審査が可能)を利用した商品「ご近所ローン」「地域サポート70」の融資基準を見直してまいります。 <p>当金庫は今後もキャッシュフローや事業計画を重視した審査態勢を整備し、担保・保証に過度に依存しない融資を推進してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域サポート70」(期間限定H19.1～H20.3・原則無担保) 実績 108件 2,210百万円(H19.4～H20.3) ・「ご近所ローン」(原則無担保) 実績 33件 75百万円(H19.4～H20.3) (通期実績 H17.4～H20.3 1,192口 2,192百万円) ・当庫格付と信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベースとの整合率 81.69%(H19.3時点)であり、整合性はあると考えます。 ・「地域サポート70」は発売期間が終了いたしました。また、「ご近所ローン」においても発売以来3年を経過しており、さらにお客様のニーズのあった商品を検討してまいります。 ・当庫格付と信用金庫業界の中小企業信用リスクデータベースとの整合率 81.69%(H19.3時点)であり、整合性はあると考えています。 ・キャッシュフローや事業計画を重視した審査を行いました。

項 目	具体的な取組策および目標	進捗状況
		19年4月～20年3月
(3)事業再生に向けた積極的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・事業再生支援について、外部講師を招いて職員に対し、再生スキームの研修を行う。 ・事業価値の高い再生支援先を選定し、公的機関とも連携を図りながら事業再生支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師研修「しんきん中金実務講座」を開催しました。(平成19年9月4・5・6日開催 参加 40名) さらに、中小企業にとって事業再生に向けて利用しやすいスキーム等の構築を検討してまいります。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
	<ul style="list-style-type: none"> ・「かわしんビジネス交流会」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 「第3回かわしんビジネス交流会」の開催 ・日 時 平成19年7月6日(金)～7日(土) 10:00～16:00 ・場 所 豊川市総合体育館 ・出展数 161社 189小間 ・基調講演 演題「お客さんに喜んでもらってこそ商いた」 講師 (株)おはなはん 代表取締役 松本章子氏 ・プレゼンテーション 2会場24社 ・各種イベント 豊川少年少女発明クラブ紹介、プラネタリウム、 鋳物作り体験コーナー、「豊川名物いなり寿司」フェア、 豊川名物土産品販売、ITキャラバン隊PR、 年金・相続・健康等相談コーナー ・来場者 約6,000名(2日間) ・マッチング 商談件数 約100件 ・今回は豊川商工会議所と合同での2日間の開催で、出展数、 イベント等大規模に実施することができ、お取引先等から高い 評価を頂きました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「お客様の声アンケート」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「お客様の声アンケート」を平成19年11月に実施 ・アンケート用紙配布1,050名に対し、回答1,031名(98.2%) 回答者内訳 [性別] 男性483名、女性484名、無回答64名 [年齢] 10代(0.2%)、20代(6.5%)、30代(16.4%)、40代(22.3%) 50代(27.3%)、60代(16.9%)、70以上(6.5%) 無回答(4.0%) [職業等] 会社員(24.9%)、役員(16.5%)、自営業(26.1%) 事業主(15.0%)、その他(8.6%)、無回答(8.8%)
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)タナベ経営によるネット例会の開催 平成19年5月 「人口減少社会のマーケティング戦略」 平成19年7月 「人材価値を高める教育体系構築法」 ・タナベソリューションフォーラム(京都国際会館)への参加